会 議 録

会議の名称	令和5年度第4回守谷市都市計画審議会			
開催日時	令和5年12月5日(火) 開会：10時00分 閉会：12時00分			
開催場所	守谷市役所 議会棟1階 大会議室			
事務局 (担当課)	都市整備部 都市計画課			
出席者	委 員	腰塚会長、今泉委員、渡辺(秀)委員、長谷川委員、渡辺(大)委員、岡田委員、椎名委員、野島委員代理、藤平委員、山下委員、清水委員、寺田委員、宇佐見委員、佐藤委員、森川委員、越智委員 以上16名		
	事務局	都市整備部：浅野部長 都市計画課：笠川次長、出野課長補佐、成島係長、仲島主任、笠木主任、藤枝主事、黒川主事 企画課：古谷副参事 以上9名		
公開・非公開 の状況	☒ 公開	☐ 非公開	☐ 一部公開	傍聴者数 0人
公開不可の場合 はその理由				
会議次第	1 開 会 2 会長挨拶 3 都市整備部長挨拶 4 議 事 (1) 諮問第2号 取手都市計画公園の変更 (2) 諮問第3号 取手都市計画下水道の変更 5 その他 ヤクルトとの基本協定締結について 6 閉 会			
確 定 年 月 日	会 議 録 署 名			
令和6年2月9日	渡辺 大士			
令和6年2月16日	岡田 晃一			

- 1 開会
- 2 市長挨拶

◎議事録署名人2名の指名について
・渡辺大士委員及び岡田晃一委員

- 3 議事
(1) 諮問第2号 取手都市計画公園の変更
(2) 諮問第3号 取手都市計画下水道の変更
—都市整備部長から会長へ諮問—
—事務局から説明—

腰塚会長：意見はあるか。質疑等なければ、原案のとおり答申してよろしいか。

委 員：異議なし。

腰塚会長：それでは、諮問第2号・第3号について、原案のとおり異議なく答申する。

- 4 その他
ヤクルトとの基本協定締結について
—事務局から説明—

<選手寮・クラブハウスについて>

森川委員：選手寮・クラブハウスを、隣接する（仮称）守谷SAスマートIC周辺土地区画整理事業予定地内に建設するということだが、開発許可等の手続きを行わないと建設ができないと思う。必要になる手続きや、そのスケジュールについて教えてほしい。

事務局：公園部分については、都市公園として都市計画決定し、事業認可を取得すれば整備を進められるが、選手寮・クラブハウス部分は公園ではないため、別の手続きが必要になる。

具体的には、農振農用地から除外して、農地転用をする必要があり、区画整理事業とは関係なく手続きを進めていく。

スケジュールは、令和6年7月に開発審査会、8月には開発許可、農地の転用を行い、9月から工事を開始する予定である。

<防災拠点としての活用について>

宇佐見委員：守谷サービスエリアが首都圏の防災エリアとして位置づけられているが、（仮称）守谷市総合公園を防災拠点とするのはどうか、進出企業と防災協定を結ぶなど、何か考えていることはあるか。

事務局：守谷市地域防災計画の中で、（仮称）守谷市総合公園を防災拠点として位置付けることを考えており、今年度の3月公表に向けて協議中である。整備内容としては、地震時の避難場所として活用できるように、国からの補助金を活用しつつ、ヘリポートやかまどベンチの設置等を検討したい。

<事業認可について>

越智委員：事業認可に含まれる範囲と取得時期について確認したい。

事務局：事業認可の範囲は、ヤクルト球団の使用部分も含めて総合公園全体である。ただし、ヤクルト球団使用部分の事業費については認可に含めない。

また、認可取得時期については、令和6年2月末を予定している。

越智委員：事業認可を令和6年2月末までに取得するという事は、その時点で施設内容は決まっているのか。

事務局：その時点では基本計画の内容になる。事業認可が取れないと、令和6年4月～6月に予定している用地取得ができないため、基本計画の内容で事業認可を取得する形になる。また、基本計画の内容が決まり次第、変更申請を予定している。

越智委員：ヤクルト球団の使用部分について、専用期間が40年間なのはなぜか。

事務局：専用期間については、他の球団と自治体が結んだ協定の例を参考にした。また、協定の中で、専用期間が40年を超える場合は協議を行うとしており、40年経過後も継続できるような形を取っている。

渡辺(秀)委員：基本協定の締結と都市計画審議会は関係ないという認識でよいか。

事務局：関係はないが、都市計画審議会の委員の皆様には、(仮称)守谷市総合公園に関する都市計画決定事項について、ご審議いただいたため、関連事項として報告させていただいた。

渡辺(秀)委員：基本協定の締結について、市民や議会が意思決定に関わっていなかったと思うが、市の内部だけで決めたことなのか。

事務局：基本協定の締結については、過去に行った市民向け説明会や議会への報告の中で、何度かご説明をさせていただいており、その中で出た意見などを反映しながら、最終的には行政内部で決定をした形になる。

<下水道の処理能力について>

森川委員：下水道の浄化設備が古くなっていると感じている。また、それだけではなく、今回の総合公園整備など、下水道に求められる処理能力が増えていると思うが、大雨が降った際などは大丈夫なのか。将来的なことを見越して整備してほしい。

事務局：守谷市上下水道事務所からの報告によれば、節水対策がかなりされており、個人の住宅だけでなく、工場関係からの排水も減っている。そのため、総合公園が追加されても処理能力には問題ない。

また、下水道施設の更新について、長寿命化計画の策定が計画されている状況であると聞いている。

腰塚会長：他に意見はないか。以上で本日の審議会を終了する。

以上